



気相パージ・紫外線吸収式

溶存オゾンモニタ

Dissolved Ozone monitor

PL-603


 気相パージ式だから
汚れに強いのです


 妨害成分の影響を
受けないから
精度がいいのね。

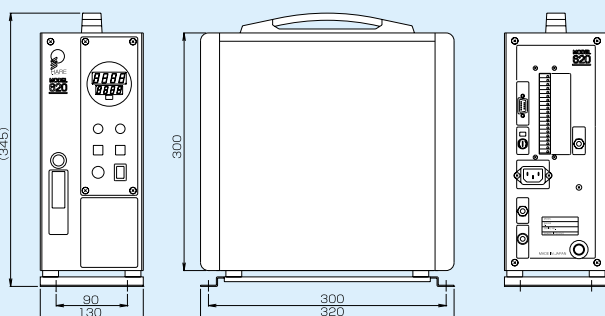
特長

気相パージ式（溶存オゾンを経験的に紫外線吸収式で測定）のため汚れに強く長期安定性に優れています。

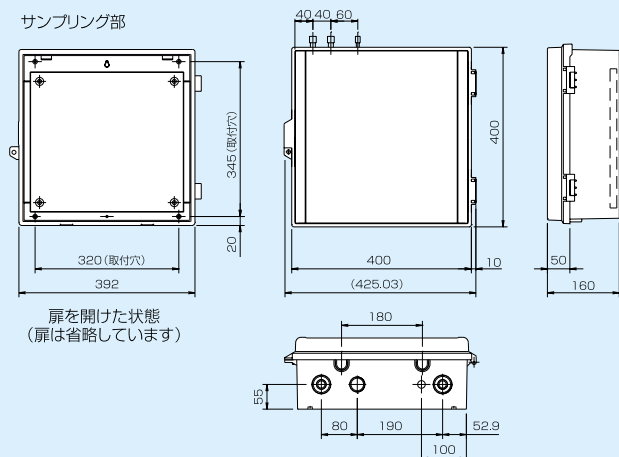
気相パージされたオゾンガスを紫外線吸収式で測定するため、水質による妨害成分の影響を受けにくく、精度の高い測定が可能です。また、メンテナンス性にも優れ、運転管理の手間を大幅に軽減することができます。

●外形図

測定部



サンプリング部



単位：mm

仕様

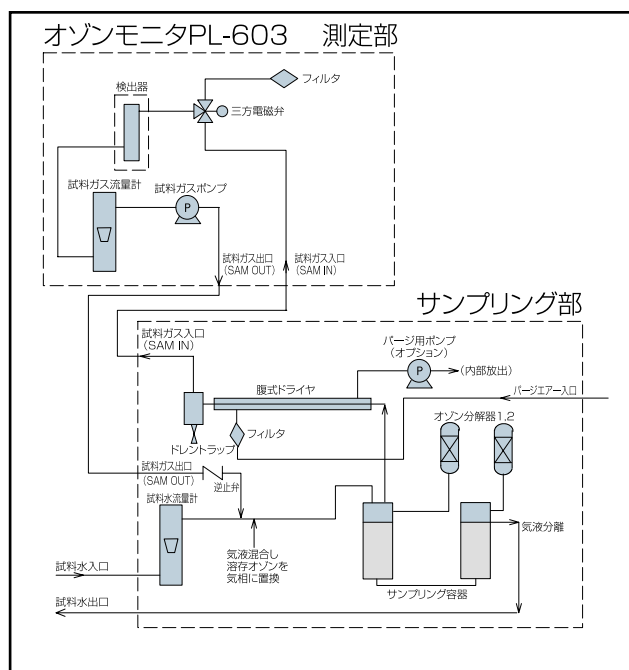
型 式	PL-603
測定原理	気相パーズ・紫外線吸収式
測定範囲	0~0.5/1/5mg/L他*
最小表示	0.001mg/L (5mg/Lレンジの場合は、0.01mg/L)
試料流量	0.8L/min(0.6~1.0L/min)
ゼロドリフト	±0.5%FS/month以内
スパンドリフト	±3%FS/month以内
直線性	±2%FS以内
繰り返し性	2%FS以下
アナログ出力	DC0~1VおよびDC4~20mA
警報出力	無電圧a接点(2系統)
電源	AC100V±10% 50/60Hz
設置方式	サンプリング部/壁掛け 測定部/床置き

*上記以外の仕様については、お問い合わせください。

測定原理

気相中濃度と液相中濃度との間には、ヘンリーの法則に基づく関係が成り立ちます。

装置内で気相に置換したオゾンガスを循環させることにより、気液平衡状態を作ります。この状態になった気相のオゾンガス濃度と、その試料水温から溶存オゾン濃度が求められます。



注意:接続はそれぞれの試料ガス入口 (SAM IN) 同士を繋ぎます。同様に試料ガス出口 (SAM OUT) も繋ぎます。

測定原理と保守内容の比較

測定原理	保守内容
紫外線吸収式 (直接法)	測定セルの汚れに応じて定期的な薬液洗浄を必要とする。(セルの汚れを監視し、自動洗浄を行う)
隔膜電極式	1~2ヶ月に1回、隔膜と電解液の交換を必要とする。交換時には校正が必要。
回転電極式	1ヶ月に1回程度、電極の清掃と薬液の補充を必要とする。同時に校正が必要。
気相パーズ・紫外線吸収式 (PL-603)	1年に1回程度の定期点検。(無試薬、無洗浄)



荏原実業株式会社 計測器・医療本部 計測器営業部

<http://www.ejooo.com>

□東日本営業課 ej-ozone@ejk.co.jp
□サービス営業課
〒215-0033 川崎市麻生区栗木2-3-12
TEL: 044-981-0560
FAX: 044-981-0561

□西日本営業課 ozon-osaka@ejk.co.jp
〒541-0046 大阪市中央区平野町3-2-13
平野町中央ビル5F
TEL: 06-6231-3528
FAX: 06-6231-2929

*カタログに記載されている仕様は改良のため予告なく変更することがあります

